

愛知県美術館のコレクションから

移動美術館2023



黒田清輝《花と猫》1906年

令和5年

7/4^火

8/20^日

入場
無料

【開館時間】午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）

【休館日】月曜日[ただし7月17日(月・祝)は開館し、翌7月18日(火)は休館]

清須市はるひ美術館

清須市春日夢の森1番地

【主催】愛知県美術館、清須市はるひ美術館、清須市、清須市教育委員会

【お問い合わせ】  清須市はるひ美術館

TEL:052-401-3881 FAX:052-408-2791


aomoa
aichi prefectural museum of art

愛知県美術館

TEL:052-971-5511(代) FAX:052-971-5604

※清須市はるひ美術館はTRC・名古屋三越グループ共同事業体が管理・運営しています。

画家たちの眼

—さまざまな表現への挑戦—

などの洋画と彫刻約30点

安藤正子

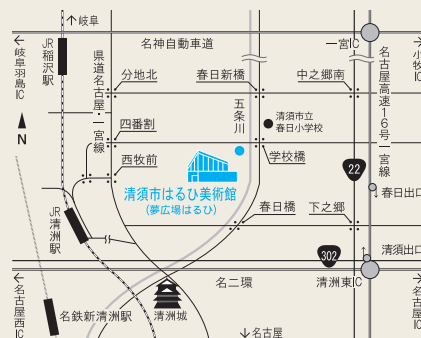
熊谷守一

太田三郎

黒田清輝

高橋由一

ラウル・デュフィ

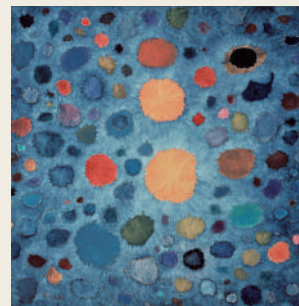


画家たちの眼

—さまざまな表現への挑戦—

愛知県美術館では、より多くの県民の皆様にご鑑賞いただくため、県内各地に作品を運んで「移動美術館」を開催しています。清須市で初めてとなります今回の移動美術館は、国内外の近代・現代の油彩画を中心に、彫刻作品を加えた約30点を展示します。清須市は、愛知県美術館の前身である愛知県文化会館（1955年開館）の初代美術科長を務めた洋画家、太田三郎の出身地（旧西春日井郡）です。本展示では、太田三郎の大正期の作品を含め、明治初期に写実表現を追究した高橋由一から現代までの油彩画を中心にご紹介します。会期中には、記念対談やギャラリートークも行います。愛知県美術館のコレクションを通して、洋画のさまざまな表現をお楽しみいただければ幸いです。

- 1) 正宗得三郎《パイナップルのある静物》1923年頃
- 2) 古賀春江《夏山》1927年
- 3) 小出楯重《蔬菜静物》1925年
- 4) 高橋由一《厨房具》1878-79年
- 5) 木村莊八《瓶を持っている女》1915年
- 6) 瑛九《黄色い花》1957-58年
- 7) 中原悌二郎《憩える女》1919年



関連行事

● お問い合わせ・申込み先：清須市はるひ美術館
TEL:052-401-3881

記念対談

参加無料・要電話申し込み

【日時】令和5年7月8日（土）
午後2時から午後3時まで

【場所】清須市立図書館研修室
（清須市立図書館2階）

【講師】愛知県美術館館長 拝戸雅彦
清須市はるひ美術館館長 高北幸矢

【定員】50名

展示説明会（ギャラリートーク）

参加無料・事前申し込み不要

【日時】令和5年7月30日（日）
午後2時から午後2時40分まで

【場所】清須市はるひ美術館
展示室1・展示室2

【講師】愛知県美術館学芸員

移動美術館 2023

Access

🚗 お車の場合

- 名二環 / 清洲東ICより約5分
- 名神高速道路 / 一宮ICより約20分
- 名古屋高速道路 / 一宮からは春日出口より約5分
名古屋からは清須出口より約5分

無料駐車場をご利用ください（104台）

🚆 電車の場合

- JR東海道本線「清洲駅」下車 徒歩20分
または「きよすあしがるバス」をご利用ください。
- JR東海道本線「稲沢駅」下車 タクシーで約10分
- 名鉄本線「新清洲駅」下車 タクシーで約10分

🚌 バスの場合

- 「きよすあしがるバス」夢広場はるひ下車すぐ

